※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

規律を保ちながら、自主的な取り組みを引き出す授業を目指す。その中で
①　運動技能を正しく身につけ、運動の楽しさを感じることができる
②　水泳等の克服型スポーツに対しても能動的に取り組むことができる
③　全員が楽しむことができるような気配りをしながら競技に取り組むことができる
の３点を中心に１年間通して身につけるようにする。

２　学習の到達目標

知識・技能
ラグビー、バレーボールのルールを理解し、プレーできるようになる。
平泳ぎの習得とある一定の距離（50m）を泳げるようになること。
思考・判断・表現
球技を通して、周りへの言葉かけや、チームプレーを学び、協調性を養う。
学びに向かう力・人間性
ランニング、体操、補強に関して全力で取り組み、体育の授業の良い雰囲気を作る一員となる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。運動の合理的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって運動に親しむための理論について理解している。また、個人生活における健康・安全について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	生涯にわたって運動に親しむことをめざして、学習課題に応じた運動の取組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の組み合わせ方を工夫している。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に積極的に取り組もうとする。また、個人生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ラグビー	チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする。互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする	a:パス、キック、キャッチ、ランニングなどの基本的な技能を身につけ、互いに協力して有効な動きを身につけることができる b:自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる c:ラグビーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレーを大切にすることができる	技能 テスト 実践 テスト 観察	観察 レポート	観察 グループ ワーク 自己評価
1～2	水泳	①　平泳ぎ 自己の能力に応じて技能を高め、正しいフォームで速く、また長く泳ぐことができるようにする	a: プルとキックのコンビネーション、手の動作と呼吸のタイミングなどの技能を習得できている b:泳法など自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫できる c:水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。何より健康・安全を大切に取り組む姿勢を持っている	技能 テスト 実践 テスト 観察	観察 レポート	観察 グループ ワーク 自己評価
2	柔道・体つくり運動	自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防ができるようにする。互いに協力するとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。	a:基本的な体つくり運動を土台に受け身や投げ技の「かかり稽古」を通して様々な技を身につけ、崩しから掛けるという一連の動作を身につけることができる b:自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向け取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる c:柔道に自主的に取り組むことができるとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとできる、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。なにより安全に配慮することができる	技能 テスト 実践 テスト 観察	観察 レポート	観察 グループ ワーク 自己評価
2～3	バレーボール	チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上、戦術・作戦を生かした攻防の展開ができるようにする	a:レシーブ・トス・スパイク・ブロックなどの基本を着実に身につけ、連係プレーを組み立てられるようにする b:自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる c:バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にしようとすること、一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にすることができる	技能 テスト 実践 テスト 観察	観察 レポート	観察 グループ ワーク 自己評価

※令和４年度以降入学生用

1〜3	体育理論	運動やスポーツに関する知識を深め、普段の運動生活に実践できるようにする、	a:運動やスポーツが多様であることについて理解する。 b: 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見する c:運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組むこと。	技能テスト 実践テスト 観察	観察 レポート	観察 グループワーク 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度